

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1396
施設名	柴崎にじのいろ保育園
施設所在地	立川市柴崎町1-16-23
法人名	社会福祉法人 若水会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

身近に自然豊かな公園などがあるため、散歩でよく出かけている。虫や植物など自然に関するの実体験が豊富なことと、虫や生き物、担当の好きな子が多いクラスだった。

身近なところに自然がたくさんあるため、自然についての興味関心を高め、友達と気付きを共有しながら、関心を高めていきたい。

2. 活動スケジュール

令和7年12月～3月

- ・自然とは何かを問いかける。
- ・子どもたちから出てきたものがよく見られる場所(園庭)で自然について採取したり収集したりする。
- ・出てきた自然を道具を使って、肉眼と道具で見える見え方を比べてみる。
- ・それぞれで得られた気付きを元に自然の不思議さを感じ、子ども達から出てきたことから次の活動を考えていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・調べるための道具：虫眼鏡、観察器、電子顕微鏡、図鑑
- ※肉眼と、3種の道具を使ってそれぞれの見え方を比較しながら使用した。
- ・5人ずつの小グループごとに活動を行う。それぞれのグループごとに興味を持った自然について調べていく。最終的にみんなが興味を持った自然について共有できる活動を行う。
- ・絵の具、ばれん ※葉脈を採取した時に使用した。
- ・活動の記録のための道具：カメラ、電子顕微鏡での撮影、ビデオカメラ、ipad、ノートパソコン
- ・看板作りで使用した素材：板、絵の具、ニス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

「自然」とは何だと思うか、小グループごとに問いかける。植物・昆虫・空・水・石・砂・土など出てきたものを書き出し、それらがよく見られる自分たちに1番近い場所はどこかを問いかける。子どもたちから園庭という意見が出てきたため、まず園庭の自然について調べてみることにする。

⇒自然だと思って挙げられたものが、本当に園庭にあるのか集めてみる。

⇒集めてみると、石や砂などは名前が分かるが、園庭のたくさん生えている木が実体験から名前が分かるものではないものがあることに気がつく。(アゲハ蝶の幼虫の飼育を4歳児クラスから行って、みかんの木にくることを知っている。)

⇒たくさん生えている木の葉や幹などを道具を使って観察し、図鑑を活用して調べてみるようになった。

⇒卒園も控えていて、保育園のみんなが名前を知って親しめるように、看板を手作りしようとなった。

⇒木を調べていくうちに、他にも観察してみたい自然があると気持ちが膨らんでいった。虫や花など、自分の興味を持ったものを集め、みんなで道具を使いながら好きなように観察を楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

自分たちで自然とは何かを考えながら探し、集めていくことを楽しんでた。調べる過程で、様々な道具を使い、肉眼での見え方、道具による見え方が異なることに気がついていた。肉眼では見えない色や模様などが虫眼鏡や電子顕微鏡によって分かり、「目では見えないけど、顕微鏡だと葉っぱの裏に毛が生えてる！」など声に出しながら肉眼と交互に見比べたり、違う道具で見比べてみたり、友達同士で試しながら発見を共有していた。そして木について調べて看板づくりをし、実際に小さいクラスにも教えながらつけたことで、自分たちで行った達成感と嬉しさを感じているようだった。木を調べ終わると、虫など自分の好きな自然についても見てみたいと興味を広げていき、大人にもっとやりたいと言ってきたり、友達にも次やりたいことを提案していたり、興味関心を広げていきながら、共有する楽しさを感じていた。



園庭にはどんな自然があるか？



名前が分からない木があった



道具や図鑑を使って調べてみよう



調べた木の看板をつくって、みんなに知らせよう



興味をもった自然を更に調べてみよう

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの意見、考えを聞きながら活動を進めて行ったことで意欲的に参加していた。保育で普段使用しない道具を用意することで興味が沸き、探究心が高まっていた。

身近な園庭での活動で、いつもは注目していなかったものに目を向けたことで、木の名前が分からないことに気が付いたり、見た目は花みただけど花と呼ばれるものなのか等、子どもたちなりの気づきがある、大人が疑問に感じなかったことへ発展していくことが面白かった。木について調べてみたことをきっかけに、更に虫なども調べてみたいと、自分の好きな自然へと関心を広げ、友達と発見を共有することの楽しさを感じることができていた。